

佐久市立 新小学校校名案決定



(浅間山方面から)



(蓼科山方面から)

<新小学校完成イメージ図>

(〇〇〇)

校名案「佐久市立 〇〇〇小学校」

佐久市では、岩村田小学校の老朽化及び過大規模解消のため、新しい小学校の建設を進めています。この度、平成27年4月の開校を目指している、新しい小学校の名前が決定しました。今後は、開校までに、佐久市学校設置条例改正の議会議決を経て、校名が正式に決定します。

1. 校名案選定経過

平成24年4月 校名案募集の方針決定

5月 校名案選定基準を決定(第5回定例教育委員会)

6月 広報6月号に校名案募集のお知らせ、校名案募集
・応募総数 678人、校名案 227通り

7月 校名案集計

8月 新小学校建設地域協議会で校名案の集約報告

9月 議会全員協議会へ校名案の集約報告

10~12月 教育委員で協議、校名案決定(第12回定例教育委員会)

・10~11月にかけて、校名案選定基準に基づき校名案を3つに絞る

・3つの校名案から1つに絞り、上記校名案を12月の定例教育委員会で決定



【位置図】(佐久市長土呂字仲田、大豆田地籍)

2. 校名案選定基準

- ①校区内・外の住民に親しみやすく、広く受け入れ易いこと。
- ②新小学校の理念(コンセプト)に沿っていること。
- ③校名案を付けた理由が明確であり、説得力があること。
- ④他の地域に類似の名称がなく、誤解されることがない名称であること。
- ⑤当て字、一般的な読み方ができない、読み方が何通りもできる校名案でないこと。
- ⑥学校名から地理的なイメージが湧きやすいこと。

3. 主な校名案決定理由

- ①校名案は、新小学校が建設される地域の古代からの歴史性ととも、現在も佐久平の名の下、発展している地域性を有している。
- ②校名案は、浅間山のように雄大で志の高い子どもたちの成長をイメージし易く、新小学校のコンセプトである「ともに育ち学びあう学校」にも繋がる。
- ③校名案は、他地域にはなく、名前を聞いたときに、地理的イメージが湧き易い。
- ④校名案は、公募した校名案の一つであるが、多数の公募名である「佐久平」及び「浅間」を包み込み、また市民の新小学校への希望や願いも表れていることから、多くの方々に受け入れ易い。